

豊橋市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

～調査ご協力をお願い～

調査の意図、調査への協力依頼等

豊橋市長 佐原 光一

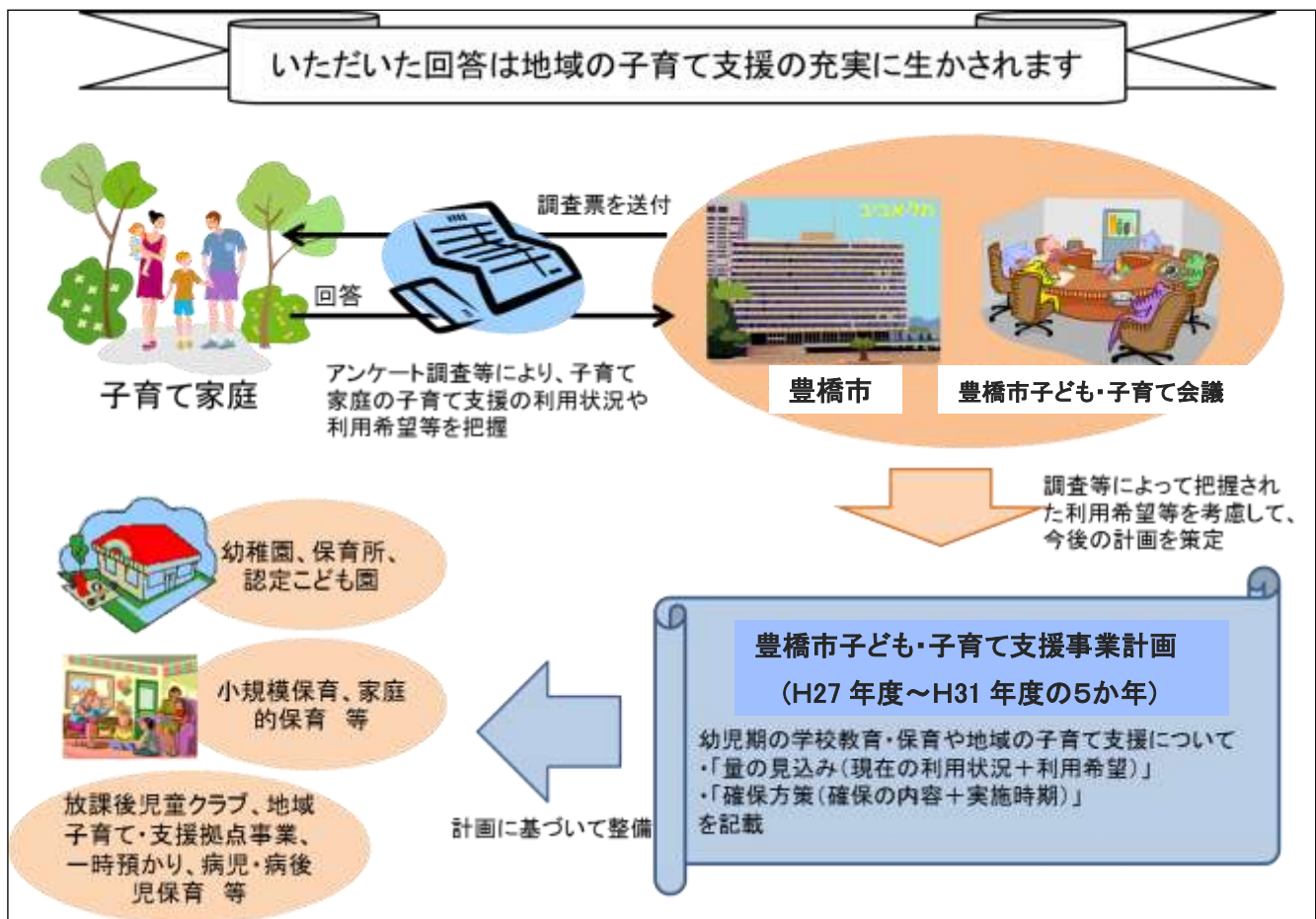
【この調査票における用語の定義】

- ・幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・教育：問10までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問11以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

～ご記入にあたってのお願い～

1. アンケートには、**お子さんの保護者の方**がご記入ください。
2. ご回答は、**選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合**がございます。
3. 選択肢の場合、**お選びいただく数が設問によって異なります**ので注意書きに従ってください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に**具体的な内容**をご記入ください。
4. 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、**24時間制**（例：午後6時→18時）でご記入ください。
5. ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の**返信用封筒**に入れて 月 日 （ ）までにご投函ください。（**切手は不要です**）
6. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、**ことわり書きや矢印**に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
7. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

＜問い合わせ先＞ 豊橋市福祉部子育て支援課 電話 51-2325（直通）
月～金曜日（祝日を除く）8：30～17：15



子ども・子育て支援新制度の考え方

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

問 8-1 問 8 で「1.～4.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族や友人・知人にお子さんをみてもらう時の状況について、それぞれ当てはまるものすべてについて○を記入してください。

(1) 祖父母等の親族にみてもらうと答えた方	(2) 友人・知人にみてもらうと答えた方
1. 預かる方の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	1. 預かる方の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 預かる方の身体的負担が大きく心配である	2. 預かる方の身体的負担が大きく心配である
3. 預かる方の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	3. 預かる方の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()	6. その他 ()

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 9 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。

1～6のうち当てはまる番号1つに○をつけてください。なお、⇒の設問がある場合には、それについてもお答えください。〔 〕内には数字を記入してください。

※短時間勤務制度を利用されている方は、制度取得前の勤務時間でお答えください。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】

1.	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
	⇒1週あたり〔 〕日、1日あたり〔 〕時間 ⇒平均的に家を出る時間ごろですか 〔 〕時〔 〕分ごろ } ※24時間制で記入 ⇒平均帰宅時間は何時ごろですか 〔 〕時〔 〕分ごろ }
2.	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である。
	※産休・育休・介護休業に入る前の状況についてお答えください。 ⇒1週あたり〔 〕日、1日あたり〔 〕時間 ⇒平均的に家を出る時間は何時ごろでしたか〔 〕時〔 〕分ごろ } ※24時間制で記入 ⇒平均帰宅時間は何時ごろでしたか 〔 〕時〔 〕分ごろ }
3.	パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業ではない
	⇒1週あたり〔 〕日、1日あたり〔 〕時間 ⇒平均的に家を出る時間は何時ごろですか〔 〕時〔 〕分ごろ } ※24時間制で記入 ⇒平均帰宅時間は何時ごろですか 〔 〕時〔 〕分ごろ } ⇒フルタイムへの転職希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
	1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない 3. フルタイム以外の就労を続けることを希望 4. フルタイム以外をやめて子育てや家事に専念したい
4.	パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中である
	※産休・育休・介護休業に入る前の状況についてお答えください。 ⇒1週あたり〔 〕日、1日あたり〔 〕時間 ⇒平均的に家を出る時間は何時ごろですか〔 〕時〔 〕分ごろ } ※24時間制で記入 ⇒平均帰宅時間は何時ごろですか 〔 〕時〔 〕分ごろ } ⇒フルタイムへの転職希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。
	1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない 3. フルタイム以外の就労を続けることを希望 4. フルタイム以外をやめて子育てや家事に専念したい

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	
⇒1週あたり〔 〕日、1日あたり〔 〕時間 ⇒平均的に家を出る時間ごろですか 〔 〕時〔 〕分ごろ } ※24時間制で記入 ⇒平均帰宅時間は何時ごろですか 〔 〕時〔 〕分ごろ }	
2. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である。	
※産休・育休・介護休業に入る前の状況についてお答えください。 ⇒1週あたり〔 〕日、1日あたり〔 〕時間 ⇒平均的に家を出る時間は何時ごろでしたか 〔 〕時〔 〕分ごろ } ※24時間制で記入 ⇒平均帰宅時間は何時ごろでしたか 〔 〕時〔 〕分ごろ }	
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業ではない	
⇒1週あたり〔 〕日、1日あたり〔 〕時間 ⇒平均的に家を出る時間は何時ごろですか 〔 〕時〔 〕分ごろ } ※24時間制で記入 ⇒平均帰宅時間は何時ごろですか 〔 〕時〔 〕分ごろ } ⇒フルタイムへの転職希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。	
<table border="1"> <tr> <td> 1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない 3. フルタイム以外の就労を続けることを希望 4. フルタイム以外をやめて子育てや家事に専念したい </td> </tr> </table>	1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない 3. フルタイム以外の就労を続けることを希望 4. フルタイム以外をやめて子育てや家事に専念したい
1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない 3. フルタイム以外の就労を続けることを希望 4. フルタイム以外をやめて子育てや家事に専念したい	
4. パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中である	
※産休・育休・介護休業に入る前の状況についてお答えください。 ⇒1週あたり〔 〕日、1日あたり〔 〕時間 ⇒平均的に家を出る時間は何時ごろですか 〔 〕時〔 〕分ごろ } ※24時間制で記入 ⇒平均帰宅時間は何時ごろですか 〔 〕時〔 〕分ごろ } ⇒フルタイムへの転職希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。	
<table border="1"> <tr> <td> 1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない 3. フルタイム以外の就労を続けることを希望 4. フルタイム以外をやめて子育てや家事に専念したい </td> </tr> </table>	1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない 3. フルタイム以外の就労を続けることを希望 4. フルタイム以外をやめて子育てや家事に専念したい
1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない 3. フルタイム以外の就労を続けることを希望 4. フルタイム以外をやめて子育てや家事に専念したい	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

問9で、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」「6. これまで就労したことがない」のいずれかに回答した方にうかがいます。

⇒該当しない方は、p7 問11へ

問10 就労したいという希望はありますか。母親・父親それぞれについて当てはまるもの1つに○をつけてください。〔 〕内には数字を記入してください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子供が〔 〕歳になったころに就労したい	2. 1年より先、一番下の子供が〔 〕歳になったころに就労したい
3. すぐにでも就労したい	3. すぐにでも就労したい
4. 1年以内に就労したい	4. 1年以内に就労したい

問 10-1 問 10 で「3. すぐにでも就労したい」「4. 1年以内に就労したい」と回答した方にうかがいます。
 希望する就労形態について、母親・父親それぞれについて当てはまるもの 1 つに○をつけてください。
 また、イ. の場合は〔 〕内に数字を記入してください。

(1) 母親	(2) 父親
ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)	ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外) ⇒ 1週当たりの日数 〔 〕日 ⇒ 1日あたりの時間数 〔 〕時間	イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外) ⇒ 1週当たりの日数 〔 〕日 ⇒ 1日あたりの時間数 〔 〕時間

問 10-2 問 10 で「3. すぐにでも就労したい」と回答した方にうかがいます。

就労希望がありながら働いていない理由は何ですか。母親・父親それぞれについて当てはまる番号すべてに○を記入してください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 保育サービスが利用できない	1. 保育サービスが利用できない
2. 育児と両立できる仕事が無い	2. 育児と両立できる仕事が無い
3. 就労への家族の理解が無い	3. 就労への家族の理解が無い
4. やりたい仕事が見つからない	4. やりたい仕事が見つからない
5. 健康上の理由	5. 健康上の理由
6. 現在妊娠中である	6. その他 ()
7. その他 ()	

II 乳幼児期の教育や保育について

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 11【A 群】に示した事業が含まれます。

問 11 現在、利用している、していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える事業について、お子さんの成長にあわせて年齢ごとに希望する事業を下の【A 群：希望する教育・保育事業】から選んで枠内に番号を記入してください。（現在のお子さんの年齢から 5 歳までについてお答えください。）

また、その事業を希望する上で重視する条件について、あてはまる条件を下の【B 群：事業を希望する上で重視する条件】から 3 つまで選んで枠内に番号を記入してください。

あわせて、1 週あたりの利用希望日数、1 日あたりの希望もご記入ください。

なお、事業の利用にあたっては一定の利用料がかかります。

	A 群：希望する教育・保育事業（希望事業すべて）	B 群：事業を希望する上で重視する条件（3 つまで）	1 週あたり希望日数	1 日あたり希望時間
0 歳			日	時間
1 歳			日	時間
2 歳			日	時間
3 歳			日	時間
4 歳			日	時間
5 歳			日	時間

【A 群：希望する教育・保育事業】（希望する事業すべての番号を上の上の A 群欄に記入）

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 家庭的保育（保育者の家庭等で子どもを保育する事業）
6. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
7. その他の認可外の保育施設
8. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
9. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
10. 児童発達支援事業所（障害児通所施設）
11. その他（ ）

【B 群：事業を希望する上で重視する条件】（重視する条件を 3 つまで選んで上の B 群欄に番号を記入）

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 教育・保育の内容や方針が希望にあう | 2. 教員・保護者の質が高い |
| 3. 施設や設備が充実している | 4. 園庭が有る |
| 5. 保育時間が利用希望にあう | 6. 認可されている施設である |
| 7. 保育料が適正である | 8. 親の負担の程度が軽い |
| 9. 親が運営・行事などに関わる機会が多い | 10. 自宅からの距離が近い |
| 11. 利用する駅や職場からの距離が近い | 12. その他（ ） |

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 13 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を〔 〕内に数字で記入してください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

- | | | |
|-----------------|-----|-------------------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } ⇒ | 利用したい時間帯
〔 〕時から〔 〕時まで ※24 時間制で記入 |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | |

(2) 日曜・祝日

- | | | |
|-----------------|-----|-------------------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } ⇒ | 利用したい時間帯
〔 〕時から〔 〕時まで ※24 時間制で記入 |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | |

問 13-1 問 13 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|--|
| 1. 月に数回仕事が入るため | |
| 2. 親族の介護や手伝いが必要なため | |
| 3. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため | |
| 4. 息抜きのため | |
| 5. その他 () | |

問 14 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、〔 〕内に数字で記入してください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。

- | | | |
|---------------------|-----|-------------------------------------|
| 1. 利用する必要はない | } ⇒ | 利用したい時間帯
〔 〕時から〔 〕時まで ※24 時間制で記入 |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | | |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | | |

問 14-1 問 14 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 週に数回仕事が入るため | 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため | 4. 息抜きのため |
| 5. その他 () | |

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。 (平日の教育・保育を利用する方のみ)

⇒平日の定期的な教育・保育の事業を利用していない方は問 16 へ

問 15 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 11 で1に○をつけた方）にうかがいます。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

- | | | | |
|--------|------------|---------|----------|
| 1. あった | ⇒ 問 15-1 へ | 2. なかった | ⇒ 問 16 へ |
|--------|------------|---------|----------|

問 15-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も〔 〕内に数字で記入してください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）。

1年間の対処方法	日数	
ア. 父親が休んだ	〔 〕日	⇒問 15-2 へ
イ. 母親が休んだ	〔 〕日	
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	〔 〕日	⇒P.11 問 16 へ
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	〔 〕日	
オ. 病児・病後児の保育を利用した	〔 〕日	
カ. ベビーシッターを利用した	〔 〕日	
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	〔 〕日	
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	〔 〕日	
ケ. その他 ()	〔 〕日	

問 15-1 で、「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にかがいます。

問 15-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。次に、⇒の設問についてもお答えください。〔 〕内には数字を記入してください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. 病児・病後児保育施設等を利用したいと思った

⇒利用したい日数〔 〕日

⇒利用する場合、いずれの事業形態が望ましいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. 家に来てもらい預かる事業
5. その他 ()

2. 利用したいとは思わなかった

⇒その理由として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。〔 〕内には数字を記入してください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	2. 地域の事業の質に不安がある
3. 利用可能時間、日数などが利用しにくい	
4. 近くにないため利用しにくい（⇒施設まで〔 〕分くらいなら利用したい）	
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 親が仕事を休んで対応する	8. その他 ()

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や、宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 16 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も〔 〕内に数字で記入してください。

利用している事業・日数（年間）															
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	〔 〕日														
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	〔 〕日														
3. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	〔 〕日														
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間に、子どもを預かる事業）	〔 〕日														
5. 認可外保育施設・託児所	〔 〕日														
6. ベビーシッター	〔 〕日														
7. その他（ ）	〔 〕日														
8. 利用していない ⇒現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。															
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 特に利用する必要がない</td> <td style="width: 50%;">2. 利用したい事業が地域にない</td> </tr> <tr> <td>3. 利用料がかかる・高い</td> <td>4. 利用料がわからない</td> </tr> <tr> <td>5. 事業の質に不安がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7. 自分が事業の対象者になるのかわからない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. その他（ ）</td> <td></td> </tr> </table>		1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない	3. 利用料がかかる・高い	4. 利用料がわからない	5. 事業の質に不安がある		6. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない		7. 自分が事業の対象者になるのかわからない		8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない		9. その他（ ）	
1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない														
3. 利用料がかかる・高い	4. 利用料がわからない														
5. 事業の質に不安がある															
6. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない															
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない															
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない															
9. その他（ ）															

問 17 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を〔 〕内に数字で記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を〔 〕内に数字で記入してください。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計〔 〕日	} ⇒問 17-1 ↑
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	〔 〕日	
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	〔 〕日	
ウ. 不定期の就労	〔 〕日	
エ. その他（ ）	〔 〕日	
2. 利用する必要はない ⇒ 問18へ		

問 17-1 問 17 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 17 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域の子育て支援拠点等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問 18 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も〔 〕内に数字で記入してください。

	1年間の対処方法	泊数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	〔 〕泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを預かる事業）	〔 〕泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等） を利用した	〔 〕泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	〔 〕泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	〔 〕泊
	カ. その他（ ）	〔 〕泊
2. なかった		

宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、p. 14 問 24 へ

問 19 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字で記入してください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も〔 〕内に数字で記入してください。

1. 自宅	週〔 〕日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週〔 〕日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週〔 〕日くらい
4. 放課後児童クラブ〔学童保育〕※1	週〔 〕日くらい ⇒下校時から〔 〕時まで ※24 時間制で記入
5. 放課後子ども教室 ※2	週〔 〕日くらい
6. ファミリー・サポート・センター	週〔 〕日くらい
7. その他（市民館、公園など）	週〔 〕日くらい

※1「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※2「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や市民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。夏休み等の長期休業期間中は利用できません。

問 20 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字で記入してください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も〔 〕内に数字で記入してください。※だいたい先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週〔 〕日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週〔 〕日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週〔 〕日くらい
4. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週〔 〕日くらい ⇒下校時から〔 〕時まで ※24 時間制で記入
5. 放課後子ども教室	週〔 〕日くらい
6. ファミリー・サポート・センター	週〔 〕日くらい
7. その他（市民館、公園など）	週〔 〕日くらい

問 21 問 19 または問 20 で「4. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1) (2) それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を〔 〕内に数字で記入してください。

(1) 土曜日

- | | | |
|-------------------------|-----|---------------------|
| 1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい | } ⇒ | 利用したい時間帯 ※24 時間制で記入 |
| 2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい | | 〔 〕時から〔 〕時まで |
| 3. 利用する必要はない | | |

(2) 日曜・祝日

- | | | |
|-------------------------|-----|---------------------|
| 1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい | } ⇒ | 利用したい時間帯 ※24 時間制で記入 |
| 2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい | | 〔 〕時から〔 〕時まで |
| 3. 利用する必要はない | | |

問 22 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、〔 〕内に数字で記入してください。

- | | | |
|-------------------------|-----|---------------------|
| 1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい | } ⇒ | 利用したい時間帯 ※24 時間制で記入 |
| 2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい | | 〔 〕時から〔 〕時まで |
| 3. 利用する必要はない | | |

問 23 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことのできる場がある場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 子どもに遊びを教えたり、しつけをしてくれる場 |
| 2. 子どもが放課後などに集まって、子ども同士で自主活動などができる場 |
| 3. 子どもが土日に活動したり、遊んだりできる場 |
| 4. 子ども自身が悩みを相談できる場 |
| 5. その他() |

Ⅲ 育児休業や短時間勤務など、職場の両立支援制度について

育児休業や短時間勤務についてうかがいます。

問 24 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、また、取得していない方はその理由の番号を下の枠の中から選んで記入してください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んで記入してください）（いくつでも）	1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んで記入してください）（いくつでも）

- 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
- 2. 仕事が忙しかった
- 3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった
- 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
- 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
- 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 7. 保育所（園）などに預けることができた
- 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
- 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- 10. 子育てや家事に専念するため退職した
- 11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
- 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
- 13. 育児休業を取得できることを知らなかった
- 14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
- 15. その他（ ）

問24-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた 2. 育児休業給付のみ知っていた 3. 保険料免除のみ知っていた 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった
--

問 24 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、p. 18 問 25 へ

問 24-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。母親、父親それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親	
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. ⇒問24-3へ
2. 現在も育児休業中である	2. 現在も育児休業中である	2. ⇒問24-8へ
3. 育児休業中に離職した	3. 育児休業中に離職した	3. ⇒問24-9へ
4. 育児休業取得後に一旦職場に復帰したが、育児と仕事の両立が困難なため離職した	4. 育児休業取得後に一旦職場に復帰したが、育児と仕事の両立が困難なため離職した	4. ⇒問24-10へ

問 24-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 24-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。母親・父親それぞれについて〔 〕内に数字でご記入ください。

	実際の取得期間	希望
(1) 母親	〔 〕 歳 〔 〕 ヶ月まで	〔 〕 歳 〔 〕 ヶ月まで
(2) 父親	〔 〕 歳 〔 〕 ヶ月まで	〔 〕 歳 〔 〕 ヶ月まで

問 24-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。〔 〕内に数字でご記入ください。

(1) 母親	(2) 父親
〔 〕 歳 〔 〕 ヶ月まで	〔 〕 歳 〔 〕 ヶ月まで

問 24-3 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 24-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親	②父親
1. 希望する保育所に入るため	1. 希望する保育所に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	5. その他 ()

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親	②父親
1. 希望する保育所に入れなかったため	1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ()	6. その他 ()

問 24-2 で、「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 24-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※「短時間勤務制度」…育児・介護休業法では、事業主は、3歳に満たない子を養育する従業員について、従業員が希望すれば利用できる短時間勤務制度を設けなければならないとされており、1日の労働時間を原則として6時間（5時間45分から6時間まで）とする措置を含むものとしなければなりません。

【短時間勤務制度の対象となる従業員は、以下のいずれにも該当する男女従業員です。】

- ① 3歳未満の子を養育する従業員であって、短時間勤務をする期間に育児休業をしていないこと。
- ② 日々雇用される労働者でないこと。
- ③ 1日の所定労働時間が6時間以下でないこと。
- ④ 労使協定により適用除外とされた従業員でないこと。

(1) 母親	(2) 父親
1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働いたかった、もともと短時間勤務だった）	1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働いたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した	2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）⇒問24-7へ	3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）⇒問24-7へ

問24-7 問24-6で「3. 利用しなかったが、利用しなかった（できなかった）」と回答した方に伺います。
短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由は何ですか。当てはまる番号すべてに
○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった	2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される	3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した	7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）	10. その他（ ）

問 24-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問24-8 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。母親・父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい	2. 1歳になる前に復帰したい

問 24-2で「3. 育児休業中に離職した」と回答した方にうかがいます。

問24-9 育児休業中に離職した理由として、母親・父親それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 預けられる保育所が見つからず、育児休業も延長できなかった。	1. 預けられる保育所が見つからず、育児休業も延長できなかった。
2. 復帰後の職場環境が、仕事と子育ての両立ができる態勢ではなかった。	2. 復帰後の職場環境が、仕事と子育ての両立ができる態勢ではなかった。
3. 実際に子どもが生まれて、仕事より子育てに専念しようと思った。	3. 実際に子どもが生まれて、仕事より子育てに専念しようと思った。
4. 保護者または子どもの健康上の理由	4. 保護者または子どもの健康上の理由
5. その他（ ）	5. その他（ ）

問 24-2で「4. 育児休業取得後に一旦職場に復帰したが、育児と仕事の両立が困難なため退職した」と回答した方にうかがいます。

問 24-10 育児と仕事の両立が困難なために退職した理由として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 職場に両立支援の制度があるが、職場の雰囲気から利用しにくかった。 2. 職場に両立支援の制度がなかった。 3. 保育時間内に子どもを迎えに行けず、他に見てくれる人もいなかった。 4. 子どもが病気の際に休みを取得することが多く、職場の理解が得られなかった。 5. 配偶者の育児への協力が得られなかった。 6. 保護者または子どもの健康上の理由 7. その他 ()	1. 職場に両立支援の制度があるが、職場の雰囲気から利用しにくかった。 2. 職場に両立支援の制度がなかった。 3. 保育時間内に子どもを迎えに行けず、他に見てくれる人もいなかった。 4. 子どもが病気の際に休みを取得することが多く、職場の理解が得られなかった。 5. 配偶者の育児への協力が得られなかった。 6. 保護者または子どもの健康上の理由 7. その他 ()

IV 出産や子育てについて

出産や子育ての考え方についてうかがいます。

問 25 理想とする子どもの数と、実際にいる（予定している）子どもの数は何人ですか。

1. 理想とする子どもの数	人
2. 実際（予定）の子どもの数 ※今後子どもを産む予定のある方は予定している子どもの数を含む	人

問 25 で実際（予定）の子どもの数が理想とする子どもの数より少ない方にうかがいます。

⇒該当しない方は問 26 へ

問 25-1 理想より少ない主な理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 子育てや教育にかかる費用が大きい	2. 仕事と育児の両立が難しい
3. 住宅が狭い	4. 子どもを育てるには生活環境が悪い
5. 教育・保育サービスが十分ではない	6. 育児の身体的、精神的負担に耐えられない
7. 子育てよりも自分たちの生活を楽しみたい	8. 配偶者や家族が子どもをあまり好きではない
9. 子育てを手助けしてくれる人がいない	10. 高年齢や健康などの問題で出産が難しい
11. 環境汚染など子どもの将来に不安がある	12. その他（ ）

すべての方にうかがいます。

問 26 お子さんが生まれる前に子育てに関して知っておきたかったことについて、父親と母親それぞれお答えください。※配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方に聞きながら回答してください。

母親と父親それぞれが、①～⑥について 1つずつ○をつけてください。	(1) 母親			(2) 父親		
	そう思う	そう思わない	言えない どちらとも	そう思う	そう思わない	言えない どちらとも
①子どもの心と体の成長	1	2	3	1	2	3
②子どもとの接し方	1	2	3	1	2	3
③母乳・ミルクの飲ませ方	1	2	3	1	2	3
④子育て支援などの制度的なこと	1	2	3	1	2	3
⑤親としての心構え	1	2	3	1	2	3
⑥妊娠中の経過	1	2	3	1	2	3

問 27 仕事と子育てに関する男女の生き方について、父親と母親それぞれにとっての現状と理想について、当てはまるもの1つに○をつけてください。※配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方に聞きながら回答してください。

	(1) 母親	(2) 父親
現状	1. 子育てよりも仕事を優先している 2. 仕事と子育ての両立を図るよう努めている 3. 仕事より子育てを優先している 4. その他（ ）	1. 子育てよりも仕事を優先している 2. 仕事と子育ての両立を図るよう努めている 3. 仕事より子育てを優先している 4. その他（ ）

	(1) 母親	(2) 父親
理想	1. 子育てよりも仕事を優先している 2. 仕事と子育ての両立を図るよう努めている 3. 仕事より子育てを優先している 4. その他()	1. 子育てよりも仕事を優先している 2. 仕事と子育ての両立を図るよう努めている 3. 仕事より子育てを優先している 4. その他()

問 28 男性が女性とともに家事や子育て、教育に積極的に参加するためには何が重要だと思いますか。母親・父親それぞれの考えについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。※配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方に聞きながら回答してください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設ける 2. 労働時間の短縮や休暇制度を普及させる 3. 夫婦の間で家事などの協力をするように十分に話し合う 4. 家事などを男女で協力するようなしつけや育て方をする 5. 男女平等に対する意識を高める教育をする 6. 男性の仕事優先の生き方、考え方を改める 7. 家事や子育てへの参加などに対する抵抗感をなくす 8. その他()	1. 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設ける 2. 労働時間の短縮や休暇制度を普及させる 3. 夫婦の間で家事などの協力をするように十分に話し合う 4. 家事などを男女で協力するようなしつけや育て方をする 5. 男女平等に対する意識を高める教育をする 6. 男性の仕事優先の生き方、考え方を改める 7. 家事や子育てへの参加などに対する抵抗感をなくす 8. その他()

問 29 女性が育児をしながら働き続けるために、今の社会に何が重要だと思いますか。母親・父親それぞれの考えについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。※配偶者の方の欄については、できるだけ配偶者の方に聞きながら回答してください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 求職、転職など女性の就労の相談窓口の充実と情報提供を行う 2. 育児に関する施設・サービスを向上する 3. 育児休業制度などの法・制度を充実する 4. 短期勤務、フレックスタイム、在宅勤務などの制度を導入する 5. 職場での結婚・出産による退職の慣行を是正する 6. 男女平等な昇進、教育訓練など、企業へ労働条件向上の働きかけをする 7. パート就労の課税基準など、女性に関わる税・年金制度の見直しを行う 8. 女性就労に関する理解を深めるため、雇用主や社会への意識啓発を行う 9. 男性の家事・育児参加など、働く女性への家族支援や理解の啓発を行う 10. その他()	1. 求職、転職など女性の就労の相談窓口の充実と情報提供を行う 2. 育児に関する施設・サービスを向上する 3. 育児休業制度などの法・制度を充実する 4. 短期勤務、フレックスタイム、在宅勤務などの制度を導入する 5. 職場での結婚・出産による退職の慣行を是正する 6. 男女平等な昇進、教育訓練など、企業へ労働条件向上の働きかけをする 7. パート就労の課税基準など、女性に関わる税・年金制度の見直しを行う 8. 女性就労に関する理解を深めるため、雇用主や社会への意識啓発を行う 9. 男性の家事・育児参加など、働く女性への家族支援や理解の啓発を行う 10. その他()

問 32 で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問 32-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|---|-------------------|------------------------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 祖父母等の親族 | 3. 友人や知人 | 4. 近所の人 |
| 5. 職場の人 | 6. 園や学校の保護者仲間 | 7. 園や学校の先生 | 8. 医師・看護師・栄養士 |
| 9. 保健所こども保健課（旧母子保健センター） 10. 子育てサークルや子育て中の仲間 | | | |
| 11. 地域の民生・児童委員、主任児童委員 | | 12. 子育て支援 NPO や子育て支援団体 | |
| 13. 子育て支援 SNS* | 14. つどいの広場 | 15. 子育て支援センター | |
| 16. ここにこサークル | 17. こども未来館の子育てプラザ | 18. 市役所の家庭児童相談室 | |
| 19. 市役所の母子自立支援員 | 20. 児童相談センター | 21. 民間の電話相談 | |
| 22. その他（ | ） | 23. 特にいない | |

※子育て支援 SNS…子育てや子育て支援に関する情報交換を目的とした、インターネット上でのソーシャルネットワークサービス

問 32 で「2.いない／ない」に○をつけた方にうかがいます。

問 32-2 気軽に相談できる先（人）がいない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------|---|
| 1. 配偶者に相談できない | |
| 2. 身近に相談できる祖父母や親族がいない | |
| 3. 転入したばかりで周囲に相談できる友人・知人がいない | |
| 4. 自分が住む地域の誰（どこ）に相談すればよいのか分からない | |
| 5. 相談することが好きではない | |
| 6. その他（ | ） |

すべての方にうかがいます。

問 33 市の子育てに関する相談窓口について、当てはまると思う番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1. どこに何を相談すればよいかわかりやすい | |
| 2. 子どもを連れて気軽に相談できる | |
| 3. 相談窓口がどこにあるのかわからない | |
| 4. 自分の相談内容にあった相談窓口を紹介してくれるサービスがほしい | |
| 5. 相談窓口まで距離が遠く行けないため、身近に相談窓口があるとよい | |
| 6. その他（ | ） |

地域との関わりについてうかがいます。

問 34 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1. 子どもに対して気軽にあいさつやおしゃべりをしてくれる | |
| 2. 子どもがいたずらや危険なことをしたときに注意や報告をしてくれる | |
| 3. 通園・通学時に安全を確保してくれる | |
| 4. 子どもにスポーツや遊びなどの指導をしてくれる | |
| 5. 緊急時に子どもを一時的に預かってくれる | |
| 6. 子育てについて気軽に相談やアドバイス、情報交換をしてくれる | |
| 7. その他（ | ） |
| 8. 特にない | |

問 35 あなた自身が保護者として、これならできる（してもいい）と考える子育て支援に関する活動は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 地域の人とのあいさつや交流の機会をもつ
2. 地域の子育てしている家庭への声かけ、話し相手
3. 子育ての悩みや不安をもっている親への相談先の紹介
4. 子育てサークルなどの紹介、誘い
5. 自分の特技を生かした支援活動（絵本の読み聞かせなど）
6. 子どもの安全パトロール
7. 近所の子どもの面倒を一時的にみること
8. その他（ ）

問 36 あなたを含め、宛名のお子さんの保護者の方は、子育てに関するサークルなど自主的な活動（行政が行うものを除く）に参加していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 現在参加している
 2. 現在は参加していないが（以前参加したことがある方を含む）、今後機会があれば参加したい
 3. 現在は参加しておらず（以前参加したことがある方を含む）、今後も参加するつもりはない
- } ⇒問 36-1 へ

問 36-1 問 36 で「1. 現在参加している」「2. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」と回答した方に伺います。自主活動をしていく上で行政に望む支援は何ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------------------|
| 1. 活動会場の提供（会場貸しなど） | 2. 情報発信やPRなどに関する支援（掲示板の開放など） |
| 3. 活動時間中の保育サービス | 4. 活動資金の助成 |
| 5. その他（ ） | 6. 特になし |

問 37 豊橋市内には子育てを支援する様々な団体や NPO がありますが、(1)～(3) それぞれについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

(1) 市内で活動する子育て支援団体や NPO を知っていますか	(2) これまでに団体や NPO の行う支援や活動を利用したことがありますか	(3) 今後、団体や NPO の行う支援や活動を利用したいですか
1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない

V 豊橋市の子育て環境・子育て支援サービスについて

子育て環境や子育て支援サービス全般について伺います。

問 38 豊橋市は子育てする上で住みよいまちだと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. そう思う	2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない	4. そう思わない
	5. わからない

問 39 豊橋市は子育てをする環境として、現在どのように感じていますか。また、これからの子育て環境を充実させるために何が重要だと思いますか。下記の①～⑳について、それぞれ1つずつに○をつけてください。

区 分	(1) 現在				(2) これから			
	そう 思う	え ば ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	な い え ば ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ ない	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ ない	そう 思う	え ば ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	な い え ば ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ ない	そ う 思 わ ない
①親子・子ども同士の交流の場や自然の中での多様な体験の場が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
②子どもの教育環境が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
③子どもが気軽に利用できる施設や場所が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
④子どもが生命の大切さや性についての正しい知識を学ぶ機会がある	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤児童虐待の早期発見や防止等子どもの人権を守る体制が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥希望した時期に保育サービスを利用することができる	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦保育所での多様な保育サービスが充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧子育てについて相談できる窓口が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑨子育てに関する情報が簡単に入手できる	1	2	3	4	1	2	3	4
⑩子育て家庭への経済的援助が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑪子どもが安心・安全で出かけられる環境が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑫ひとり親家庭および障害がある児童への支援が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑬外国籍家庭への子育て支援が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑭妊娠から出産、育児まで親子への健康管理が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑮子どものための医療施設が充実している	1	2	3	4	1	2	3	4
⑯子育てが家族や地域の人に支えられている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑰同世代の子を持つ親同士が交流する場が整っている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑱地域で子育てをする環境が整備されている	1	2	3	4	1	2	3	4
⑲女性が希望通りに出産後も仕事を辞めずに働き続けることが出来ている	1	2	3	4	1	2	3	4

区 分	(1) 現在				(2) これから			
	そう 思う	思 う い え ば ど ち ら か と そ う	ど ち ら か と 思 わ な い	い え ば ど ち ら か と そ う	そう 思う	思 う い え ば ど ち ら か と そ う	ど ち ら か と 思 わ な い	い え ば ど ち ら か と そ う
㊸子育て支援に積極的な企業が多い	1	2	3	4	1	2	3	4
㊹災害時の子育て支援に関する取り組みが充実している	1	2	3	4	1	2	3	4

個別の子育て支援施策に関することについてうかがいます。

各種子育て支援サービスについてうかがいます。

問 40 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑫の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「1」か「2」のいずれかに○をつけてください。なお、①～⑫は今後お子さんができた場合を想定してお答えください。

サービスや施設の種類	A 知っていますか	B これまでに利用した ことがありますか	C 今後、利用 したいですか
①パパママ教室 保健所こども保健課や医療機関で、新たに親となる人たちの育児に関する勉強会を行っています	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
②産婦・新生児訪問 生後1か月までの赤ちゃん宅に助産師などが家庭訪問します	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
③豊橋子育て情報ポータルサイト「育なび」 子育てに関する市の情報を、目的やお子さんの年齢別などで分かりやすく提供しているホームページです	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
④赤ちゃんの駅 市内のおむつ替えや授乳ができる施設や店舗を赤ちゃんの駅として登録し、紹介しています	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑤一時保育 家庭での保育が一時的に困難な時に保育所で保育を行います	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑥病児・病後児保育 保育所等に通う児童が病氣中または病氣回復期に保護者に代わって保育します	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑦保育所子育て支援地域活動 いくつかの保育所で、園庭開放による親子交流活動や相談活動、サークルの育成・活動支援などを行っています	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑧私立幼稚園地域活動（子育て広場など） いくつかの幼稚園で、園庭開放による親子交流活動や相談活動、サークルの育成・活動支援などを行っています	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑨子育て支援ショートステイ 保護者の病氣・出産・冠婚葬祭などによる児童の一時的な預かりを行っています	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑩子育て支援トワイライトステイ 保護者が仕事などで平日の夜間（午後4時～10時までの4時間以内）又は休日に養育できない時に、児童の一時的な預かりを行います。	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑪ファミリー・サポート・センター 子育ての援助をできる地域住民が、保育所の送迎や子どもの一時的な預かり等を行います。	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない

サービスや施設の種類	A 知っていますか	B これまでに利用した ことがありますか	C 今後、利用 したいですか
⑫家庭教育講座、幼児ふれあい教室 地区市民館などで、親と子のふれあいを図る ための各種講座を開催しています	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑬こども未来館「ここにこ」 乳幼児とその保護者を主な対象とした子育て プラザ、幼児や小学生を主な対象とした体 験・発見プラザなどがあります。	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑭交通児童館 幼児の親子遊び教室や自転車の乗り方教室 などを行っています。プレイルームや図書室 もあります	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
⑯家庭児童相談室 家庭における児童の諸問題の相談に応じて います	1. 知っている 2. 知らない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない

※⑤⑥⑨⑩⑪及び⑬の一部は利用料が必要

地域における子育て支援についてうかがいます。

問 41 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（0～3歳の親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を〔 〕内に数字でご記入ください。

利用している事業・回数	
1. つどいの広場 親子が自由に遊び、情報交換ができる交流の場です。あいつピア、牟呂地域福祉センター、交通児童館の3か所で、週3日開催しています	⇒1週当たり〔 〕回 もしくは 1ヶ月当たり〔 〕回程度
2. 子育て支援センター 育児相談や遊びの広場、親同士の交流の場の提供、広報紙の発行、育児サークルの活動支援等を行っています。吉田方子育て支援センター、東山子どもセンターの2か所で、週5日開催しています。	⇒1週当たり〔 〕回 もしくは 1ヶ月当たり〔 〕回程度
3. こども未来館の「子育てプラザ」 親子が自由に遊び、ふれあい、交流できる場です。子育ての相談や情報提供も 行っています。こども未来館の1階にあります。	⇒1週当たり〔 〕回 もしくは 1ヶ月当たり〔 〕回程度
4. ここにこサークル 親子が集い、遊びや育児情報の交換や、仲間づくりができる場。地域のポラン ティアの先輩ママさんやスタッフが待っています。市民館等で月1～2回開催 しています。	⇒1週当たり〔 〕回 もしくは 1ヶ月当たり〔 〕回程度
5. いずれも利用していない	

問 42 問 41 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を〔 〕内に数字で記入してください。

1. 利用していないが、今後利用したい ⇒1週当たり〔 〕回 もしくは 1ヶ月当たり〔 〕回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい ⇒1週当たり 更に〔 〕回 もしくは 1ヶ月当たり 更に〔 〕回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない ⇒利用したいと思わない、利用日数を増やしたいと思わない理由 〔 1利用したいサービスが地域にない 2サービスの質に不安 3利便性が悪く利用しづらい（立地・時間・頻度等） 4時間が無い 5利用方法が分からない 6その他（ ） 〕

子どもの遊び場や居場所についてうかがいます。

問 43 家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------|-----------------------|
| 1. 近くに遊び場がない | 2. 雨の日に遊べる場所がない |
| 3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない | 4. 遊具などの種類が充実していない |
| 5. 不衛生である | 6. いつも閑散としていて寂しい感じがする |
| 7. 遊具などの設備が古くて危険である | 8. 緑などの自然が少ない |
| 9. 遊び場やその周辺環境が悪くて、安心して遊べない | |
| 10. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない | |
| 11. 遊び場周辺の道路が危険である | 12. その他 () |
| 13. 特に感じることはない | |

子どもの権利に関する啓発についてうかがいます。

問 44 あなたは、子どもの権利に関する国際的な条約があることを知っていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問 45 あなたは、子どもの権利に関してどう考えますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 「すべての子どもに等しく子どもの権利がある」ということを、子どもたちにきちんと伝えなければ
ならない。 |
| 2. 子どもは、自分自身の「子どもの権利」が尊重されることにより、他の人の権利を尊重することや
人権の大切さを学ぶべきである。 |
| 3. まず大人が一人ひとりの「子どもの権利」を守ることが大切である。 |
| 4. 子どもに権利ばかり教えるとわがままになるので、同時に義務や責任も教えないといけない。 |
| 5. 義務を果たせない子どもに権利はないと思う。 |
| 6. その他 () |

子育てに関する情報提供についてうかがいます。

問 46 あなたは普段、子育てに関する情報はどこから入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけて
ください。

- | | |
|--|-----------------------|
| 1. 親族（親、兄弟姉妹など） | 2. 近隣・地域の知人 |
| 3. 友人 | 4. 子育てサークルの仲間、子育て中の仲間 |
| 5. 保育所、幼稚園、学校 | 6. 市役所 |
| 7. 市の広報 | 8. 豊橋子育て情報ハンドブック |
| 9. 子育て情報紙すくすく | 10. 病院など医療機関 |
| 11. テレビ、ラジオ、新聞 | 12. 子育て雑誌・育児書 |
| 13. WEB サイト（⇒よく使うもの 市ホームページ・市子育て情報ポータルサイト「育なび」・それ以外） | |
| 14. SNS（⇒よく使うのは？ facebook ・ twitter ・ その他 () | |
| 15. コミュニティ誌 | 16. その他 () |
| 17. 情報の入手先がない | 18. 情報の入手手段がわからない |

問 47 市が提供する子育て情報について、当てはまると思う番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 子育てする中で必要な情報が、分かりやすく提供されている |
| 2. どこに聞けばよいか、または、何を見ればよいか分からない |
| 3. 色々な窓口に分かれていて、個別に聞かないと情報が入手できない |
| 4. 子育て情報の案内をしてくれる総合窓口があるとよい |
| 5. その他 () |

